

オンライン日本語誤用辞典 「分類」「タイプ」「キーワード(KW)」「記号」 (公開版 ver.1.1:2012-03-26現在)

・本辞典の誤用の分類は便宜的なものであり、必ずしも統一的な文法理論および語彙論に基づいているわけではない。
 またすべての項目を網羅しているものでもない。誤用辞典の目的に合わせて項目を設定したものもある。
 各分類にどのような(機能)語が登録されているかは、備考欄を参照のこと。
 ・キーワード(KW)として登録される語例についての注意事項:
 ①大分類2の「語彙」については、誤用の単語がキーワードとして登録されている。
 ②大分類1の「文法」については、**文字列入力による検索の便宜を図り**、誤用例は以下の表に示したような形で登録されている。
 基本的に機能語の語形によるが、一部(黄色でハイライトされた分野)については文法の分類項目の名称が用いられている。
 なお、これらのKWを文字列入力による検索で効率よくヒットさせるための方法については、別紙「オンライン日本語誤用辞典 使い方」を参照のこと。
 ・この分類の内容は公開データベースの更新に合わせて随時修正・追加される。(右上の更新日を参照のこと)

誤用分類

大分類	中分類	小分類	KWとして登録される語例	備考		
1	文法	1-1 取り立て助詞	1-1-1 は	は		
			1-1-2 も	も		
			1-1-3 だけしか	だけ しか	だけではない、だけでなく ※「～しかない」は1-6-10(その他)へ	
			1-1-4 (その他)	※右の備考欄に例としてあげた語と同じ形態。	さえ、すら、でも、ばかり、ばかりでなく、こそ、など、なんか、なんて、くらい、なら、まで	
		1-2 格助詞	1-2-1 が	が		
			1-2-2 を	を		
			1-2-3 に	に		
			1-2-4 で	で		
			1-2-5 から・まで	から まで		
			1-2-6 へ	へ		
			1-2-7 と	と	※並列助詞、引用の「と」は別項目	
			1-2-8 より	より	※比較構文の「より」は1-8-22へ	
		1-3 終助詞	1-3-1 か	か	※引用の「か」は1-14-12へ	
			1-3-2 ね・よ	ね よ		
			1-3-3 (その他)			
		1-4 複合辞		※複合辞の形態と同じ。ただし、「～」は付け	※文末以外の複合形式の助詞 ～について、～にもとづいて、～にとつ	
		1-5 ヴォイス	1-5-1 基本文	きほんぶん(基本文)		
			1-5-2 自動詞・他動詞	じどうし(自動詞) たどうし(他動詞)		
			1-5-3 使役	しえき(使役)		
			1-5-4 受身・使役受身	うけみ(受身) しえきうけみ(使役受身)		
			1-5-5 可能・自発	かのう(可能) じはつ(自発)	※ここではヴォイスの形態のみ扱うので、「ことができる」は1-8-23(表現文型・接辞)へ	
			1-5-6 授受・受益表現	あげる もらう くれる		
		1-6 テンス・アスペクト	1-6-1 ル形(非過去形)		る い だ ※「る」は動詞、「い」はイ形容詞、「だ」はナ形容詞・名詞文のル形(非過去形)を表している	
				1-6-2 夕形(過去形)	た	
				1-6-3 V-ている	ている	
				1-6-4 V-である	である	
				1-6-5 V-ておく	ておく	
				1-6-6 V-てしまう	てしまう	
				1-6-7 V-ていく/くる	ていく てくる	
				1-6-8 V-てみる	てみる	
				1-6-9 V-始める/続ける/終わる/出す	はじめる(始める) つづける(続ける) おわる(終わる) だす(出)	
				1-6-10 (その他)	※右の備考欄に例としてあげた語と同じ形態	ことがある、ところだ
		1-7 基本文型	1-7-1 肯定文・否定文	こうていぶん(肯定文)		
				ひていぶん(否定文)	※主に「誤形態」による肯定文、否定文の作り方の間違い	
		1-7-2 名詞・形容詞・動詞	めいし(名詞) けいようし(形容詞) どうし(動詞)		※どの品詞の語で表現するかについての誤用、または、ある語を名詞として使うのか動詞として使うのかについての誤用	
		1-8 表現文型・接辞	1-8-1 V-(よう)	う		
				1-8-2 V-たい	たい	
				1-8-3 つもり	つもりだ つもりがある	※「～で」も含む
				1-8-4 V-てほしい/ください	てほしい てください	
1-8-5 なければならない	なければならない					
1-8-6 ほうがいい	ほうがいい					
1-8-7 だろう(か)/かな	だろう だろうか かな					
1-8-8 かもしれない	かもしれない					
1-8-9 はず	はずだ はずがない			※「～で」「～ではない」も含む		
1-8-10 にちがいない	にちがいない					

			1-8-11	そう(様態)	そうだ	※「～な」「～に」も含む
			1-8-12	よう/みたい	ようだ みたいだ	※「～な」「～に」も含む
			1-8-13	らしい	らしい	※「～らしく」も含む
			1-8-14	そう(伝聞)	そうだ	※「～で」も含む
			1-8-15	べき	べきだ べく	※「～ではない」も含む
			1-8-16	のだ/んだ	のだ	※会話調の「～の」も含む
			1-8-17	わけ	わけだ わけがない	※「～で」「～ではない」も含む
			1-8-18	イ形容詞-くなる/する	くなる くする	
			1-8-19	名詞・ナ形容詞-になる/する	になる にする	
			1-8-20	V-ようになる/する	ようになる ようにする	
			1-8-21	V-ことになる/する	ことになる ことにする	
			1-8-22	比較・最上級	※右の備考欄に例としてあげた語と同じ形態。	いちばん(一番) より というより ほうが
			1-8-23	(その他)		供与)、～ことができる、～可能性がある
	1-9	待遇表現				※尊敬語・謙讓語・丁寧語
	1-10	形式名詞	1-10-1	の	の	※ここでは補文をつくる用法が中心で、いわゆる機能語を作るものは、1-6(テンス・アスペクト)または1-8(表現文型・
			1-10-2	こと・もの	こと もの	
			1-10-3	ところ	ところ	
	1-11	指示詞			この これ こう こんな このよ うな このよ うに ※「そー」「あー」について	※品詞としては名詞の「これ・それ・あれ」、副詞の「こう・そう・ああ」、形容詞の「こんな・そんな・あんな」はここで扱う
	1-12	疑問詞				※各疑問詞の形態
	1-13	2語の接続	1-13-1	列挙	※右の備考欄に例としてあげた語と同じ形態。	と、そして、ならびに、および、かつ、それから
			1-13-2	例示		や、とか、やら、だの、なり
			1-13-3	累加		も、に ※取り立て助詞の「も」とは区別
			1-13-4	選択		か、または、もしくは、あるいは、ないし
			1-13-5	(その他)		
	1-14	2文の接続	1-14-0	接続の基本	つづき(続き)	※文の接続の基本的な形態の誤り「・・・た、・・・た」など ※二文で表現するか、一文(複文)で表現するか の選択など
			1-14-1	列挙	れんようけい(連用形) ※右の備考欄に例としてあげた語と同じ形態。	V-シ(※連用形の中止用法) ～て//また、および、ならびに、そして、それから
			1-14-2	例示		～たり、とか、やら、だの、なり ※「～ような、ように」は表現文型(1-8-12)へ
			1-14-3	累加		～し、うえ//それから、そのうえ、それに、しかも
			1-14-4	選択		～か(それとも)、～か(または、もしくは、あるいは)
			1-14-5	様態・付帯状況		～て、～ながら
			1-14-6	理由・原因		～て、から、ので、ため、結果//だから、それで、そのため、おかげで、せいで、その結果
			1-14-7	条件		～ば、たら、なら、と、～とすれば、としたら、とすると、とすると、もしかしたら ※逆接条件は下の「逆接」へ
			1-14-8	逆接・対比・譲歩	※右の備考欄に例としてあげた語と同じ形態。 ただし「～」は付けられない。	～が、けれども、でも、でも、のに、としても、にしても、にしろ//けれども、しかし、それでも、それなのに、一方、他方
			1-14-9	目的		～ために、ように、には、のに、に//そのために
			1-14-10	時		～とき、て、から、あと、まえ、うちに、以来、次第、際、同時に//そのあと、そのまえ、そして、それから ※「につれて」「にともなう」などは複合辞として1-4に登録
			1-14-11	程度		～くらい、ほど、
			1-14-12	引用		～と、～か、～かどうか、～ように
			1-14-13	前置き		～が、～けれども
			1-14-14	(その他)		では、じゃ、ところで、ちなみに、つまり、ただ、ただし
	1-15	修飾	1-15-1	連体修飾	の な という といった	名詞-の、ナ形容詞-な、～という、～といった ※「～というの、～ということ、～というもの」は1-10(形式名詞)へ
					れんたい(連体)	連体修飾節の全体
			1-15-2	連用修飾	れんよう(連用)	連用修飾句
2	語彙	2-1		動詞(和語)		
		2-2		動詞(漢語)		
		2-3		動詞(その他)		

		2-4 複合動詞			※各語の辞書に登録されている形	
		2-5 イ形容詞				
		2-6 ナ形容詞(和語)				
		2-7 ナ形容詞(漢語)				
		2-8 ナ形容詞(外来語)				
		2-9 名詞				
		2-10 人称代名詞				
		2-11 副詞				
		2-12 連体詞(+名詞)				
		2-13 助数詞・数量詞				※ここでの数量詞は「数詞」および「数詞+助数詞」のみで、量の概念を表す名詞、形容詞、副詞はそれぞれの品詞
		2-14 接辞			※接頭辞、接尾辞 お～、ご～、～様、～的、～さ	
		2-15 句・連語			気にする、気になる、何も、だれも、何でも、だれでも、	
		2-16 (その他)				
3	句・文全体				※キーワードとしての登録はない	個々の成分が誤用として抽出できないもので、句または文全体が修正の対象となっている。 ※誤用例として何らかの情報が抽出できる場合は、大分類の「語彙」の2-15(句・連語)に登録されている。

誤用タイプと「添削情報」の表示と「検索KW」の登録情報

タイプ名	意味	添削情報の表示
		登録されている検索用KW【 】
1 誤選択	Aを使うべきなのに、Bを使う	B→A 【B】
誤選択+	xはAと接続・共起・呼応するのに、Bを使う	B→A [x A] 【x】
2 誤付加	Bは不要なのに、Bがある	B→φ 【B】
誤付加+	xはBと接続・共起・呼応しないのに、Bがある	B→φ [xφ] 【x】
3 誤不足	Aが必要なのに、Aがない	φ→A 【A】
誤不足+	xはAと接続・共起・呼応するのに、Aがない	φ→A [x A] 【x】
4 誤形態	Aaという形態が正しいのに、Abになっている	Ab→Aa 【※】
誤形態+	xはAaという形態に接続するのに、それが正しくない	Ab→Aa [x Aa] 【x】
5 誤位置	Aの文中の位置が正しくない	…A…→A… 【A】
6 誤文体	文体的特徴からしてAを使うべきなのにBを使う	B→A 【B】
7 その他		

備考 詳細は別紙「オンライン日本語誤用辞典 使い方」を参照のこと。4.誤形態のKW【※】については別紙「使い方」を参照。

添削情報に使われている略号

N	名詞	NA	ナ形容詞
Adj	イ形容詞	Ad	副詞
V	動詞	VN	動名詞
V-スル	終止形・辞書形	V-シ	連用形
X Y	任意の単語	P Q	任意の単語
→	左から右へ修正	φ	ゼロ(なし)
[]	正用の共起情報	()	単語の具体的な情報
【 → 】	訂正の具体的情報		例: (V: 勝つ) (N: 文化)
/	または	《 》	省略可の部分